

津波の恐れがある時には海岸から  
できるだけ遠く、できるだけ高い場所へ  
避難しましょう。



## 本部町

## 名護市

## 今帰仁村

## 旭川

## 古我知

## 中山

## 屋部

## 宇茂佐

## 為又

・北部生涯学習推進センター  
(108m)

■名桜大学(91m)

・チャイルド・リンク保育園

中山公民館(49m) ■ 1

中山第二市営住宅

中山第三市営住宅

■ 屋部小学校中山分校(63m)

中山市営住宅(66m)

・風の子保育園

津波避難場所	海拔 m
① 中山公民館	49m

0 500m

## ハザードマップの使い方

### ① ハザードマップの見方

ハザードマップでは、津波浸水場所と水深予測を色分けで表示しています。浸水の目安は下記を参照してください。また、地図内の赤い枠で表記されているエリアは土砂災害危険箇所、緑の枠で表記されているエリアは土砂災害警戒区域を示しています。現在お住まいの周辺で予測される災害状況を踏まえ、安全な避難場所までのルートの選定にご利用ください。

\*高潮ハザードマップは浸水深の色分けが津波ハザードマップとは違いますのでご注意ください。

浸水深：0.3～1m

避難行動がとれなく（高く）なる。（1.5m）

浸水深：1～2m

津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が死んでしまう。

浸水深：2～5m

木造建物のほとんどが全壊する。

浸水深：5～10m

2階建ての建物（あるいは2階部分まで）が完全に没する。

浸水深：10m以上

3階建ての建物（あるいは3階部分まで）が完全に没する。

浸水深：15m以上

この防災マップは、現行の調査要領によって収集された情報に反映しております。地図では各警戒区域外でも、土砂崩れや浸水などの災害が起こることがありますので住民一人一人のがんばりが重要です。

② 避難場所を確認しましょう

それぞれ災害の種別を考慮し、悪天候や、夜間の視界が悪いことを想定して家庭全員で避難場所を確認してください。

③ 避難ルートを地図に記入しましょう

災害の種別による避難場所までの安全なルートを、背面の地図に記入しておきましょう。

家族全員の目の届く所に貼り出していくことにより、いつでも確認ができる。

④ 避難時の持ち出し品をチェックしましょう

避難時の持ち物チェックリストをもとに事前に準備をしておきましょう。緊急時にすぐに持ち出せるように玄関付近など、保管場所も工夫してみましょう。

避難時持ち出し品

□ 非常用飲料水

□ 救急用品

□ 食料（カップ麺・缶詰・乾パン等）

□ 貴重品（現金・通帳・印鑑等）

□ 憶中電灯（予備電池）

□ 携帯ラジオ（予備電池）

□ 小さい子供がいる家庭は（包帯・三角巾・消毒液等）

□ 筆記用具（鉛筆・ノート等）

□ 衣類（Tシャツ・シャンパー・下着等）

□ マッチやライター（ろうそくなど）

□ 車手（厚手の手袋）ヘルメット

□ その他の備蓄品

□ 小さい子供がいる家庭は（ミルク、は乳びん）

□ おむつ・カッティッシュ

□ 乳首などの衣類

□ その他の備蓄品

□ その他の備蓄品